

## 【 117 】

氏名	佐々木 高
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 乙 第 2747 号
学位授与の日付	平成 6 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	塵肺症における HTLV-I 感染の検討 — 悪性腫瘍との関連を含めて —
論文審査委員	教授 太田 善介    教授 新居 志郎    教授 赤木 忠厚

## 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

塵肺症24例について合併症と共にHTLV-Iとの係わりを検索した。

MT-1, MT-2細胞株を用いた間接蛍光抗体法による抗HTLV-I抗体は, 抗体陽性3例(12.5%), 関連反応4例(16.7%)と高率であった。免疫電顕法を用いると抗HTLV-I抗体陽性の血清では, MT-2細胞の細胞膜, 細胞質, 核膜, 細胞内小器官の一部に反応を認めたが, 関連反応陽性血清では反応を認めなかった。抗HTLV-I抗体陽性3例中2例にMDS, 1例に肺癌が併発していた。一方, 関連反応陽性4例では肺癌と急性骨髄性白血病が各1例ずつ合併してきた。さらに陰性群17例においては, MDSを3例と胃癌を1例に合併していた。従って抗体陽性と関連反応陽性群における悪性疾患の合併率は高い傾向であった。抗体陽性の3例と関連反応陽性の1例にPCR法によってpXgeneが検出され, 5例中4例が陽性であった。

以上の成績により, 塵肺症と悪性疾患合併の各々にHTLV-I感染が関与している可能性が考えられた。

## 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は塵肺症24例について合併症と共にHTLV-Iとの係わりを検索したもので, MT-1, MT-2細胞株を用いた間接蛍光抗体法による抗HTLV-I抗体は, 抗体陽性3例(12.5%), 関連反応4例(16.7%)と高率であった。これらの成績より, 塵肺症と悪性

疾患合併の各々にHTLV-I感染が関与している可能性を示した。これは価値ある業績であり、よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。